

施設 FACILITIES

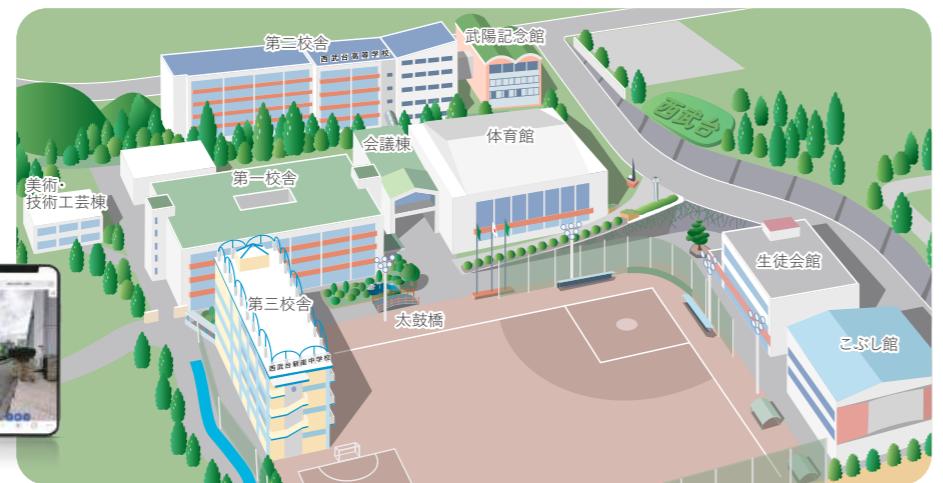


学校見学
しよう!

360°
ストリートビュー



QRコードから
アクセス!



震災や非常災害時の対策

建物は、耐震補強工事が完了しており安全が確保されています。2011年の東日本大震災での経験をもとに、帰宅困難の際に、校舎内で待機できるよう準備もしています。また、地震や火災などの災害を想定した避難訓練を年2回実施しています。緊急時には保護者へ連絡するための緊急メール発信体制も整っています。

アクセス ACCESS

●乗換一回につき5分を加算して計算していますが、路線・時間帯により若干異なります。

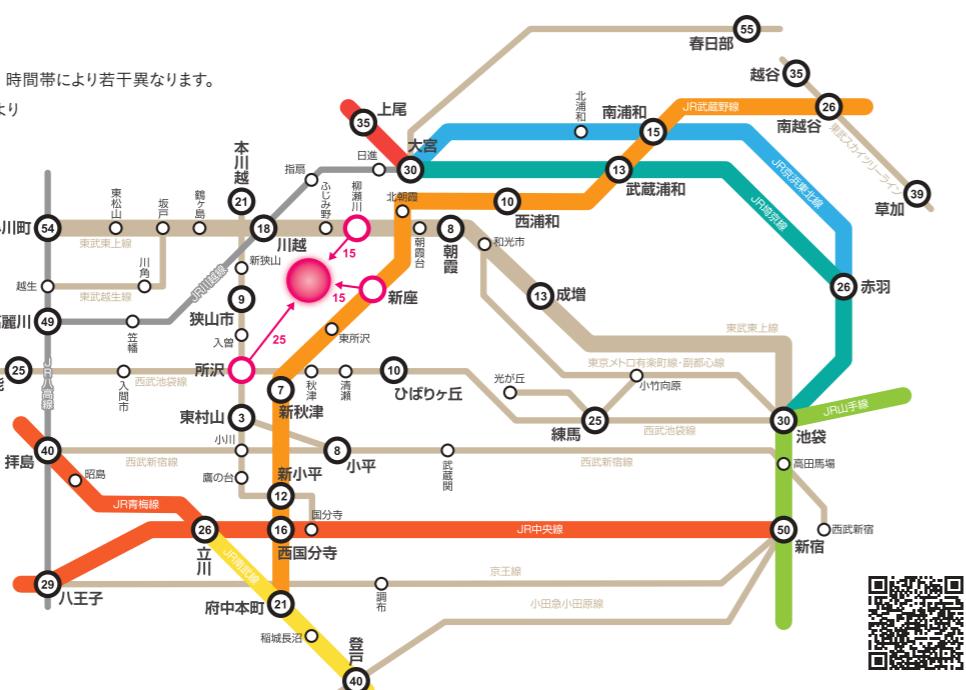
●路線バスご利用の場合は、志木駅南口・新座駅北入口より

跡見女子大行または、所沢駅東口行バス「中野」下車。

●徒歩で学校までは、柳瀬川駅・新座駅から25分です。

○スクールバス停の最寄駅まで(電車所要時間)
○スクールバス停から学校まで(バス所要時間)

●学校所在地



さらに詳しい情報は
ホームページで

EVENTS 2025

オンライン学校説明会
(第1回) 学校説明会

4/26(土) 5/17(土)

(第2回) 学校説明会

6/21(土) 7/19(土)

(第1回)

オープンスクール

8/23(土)

(第2回)
オープンスクール

9/6(土)・7(日)



(第3回)
学校説明会

9/20(土) 10/11(土)

(第4回)
学校説明会

11/1(土) 11/24(月)

(第5回)

学校説明会

入試模擬体験会

入試直前情報説明会

12/13(土)

●今後の社会情勢により日時などに変更が出る場合は本校ホームページにてお知らせいたします。

●学校説明動画を本校ホームページ内の「西武台TV」というyoutubeチャンネルにアップしていきます。

本校ホームページへのアクセスは、下記 URL を入力または「西武台新座中学校」で検索、または QR コードを読み込んでください。

<https://www.seibudai.ed.jp/junior/>

西武台新座中学校 検索



Act on the GLOBE



Act on the GLOBE

—地球サイズのたくましい人間力の育成—

西武台新座中学校は、今年で開校14年目を迎えました。本校では開校以来、6年の学びを「基礎期」「発展期」「飛躍期」の3段階に分け、一貫した教育活動を行っています。その中で、本年度からは「確かな学力」と「未来を拓くチカラ」を身に付けることを目標とし、より充実した教科の学びと体験的な学習を相互に兼ね合わせる「学びのサイクル」を設定しました。グローバル情勢の進展、生成AI等デジタル技術の発展等、子どもたちは、目まぐるしく変化していく時代を生きています。そんな現代社会において、教育活動では、自ら課題を見つけ、それを探究し、解決をしていくサイクルを循環させていくことが求められています。西武台新座中学校は、充実した教育環境を子どもたちに還元し、卒業後も広い社会で活躍できる『地球サイズのたくましい人間力』の育成を志し、日々教育活動を行っています。

6年間一貫教育

3つの
STEP

中高6年間を「中1・中2の基礎期」「中3・高1の発展期」「高2・高3の飛躍期」と
段階的に3つのステージに分け、各学年の学習到達度や習熟度を考慮した
指導を丁寧に実施していきます。



STEP 1

学びの基礎期

中1・中2

STEP 2

学びの発展期

中3・高1

STEP 3

学びの飛躍期

高2・高3



学びのサイクル



本物を
知る、見る、触る
課題研究
(SDGsなど)
校外学習
企業講演



学びの楽しさをエネルギーに。確かな学力と未来を拓くチカラを

令和7年4月から西武台新座中学校 校長に就任いたしました佐賀博です。よろしくお願ひいたします。
価値観の多様化やグローバル化の進展、急速な技術革新などが進み、予測困難で変化の激しい時代が
訪れています。現代社会を生きるために、単に与えられた課題を解決するだけでなく、自ら課題を見出し
解決する力が求められることは言うまでもありません。本校では「教科学力」「知識・技能」と「探究」「創る」
のカリキュラムを循環させて学ぶことで、確かな学力と問題解決能力を身に付けることを目指していま
す。中高一貫の6年間は主体的に学ぶことの楽しさを実感できる日々であります。希望する大学に合
格する学力はもちろん、その先の未来を切り拓くチカラを身に付けてほしいと思います。

本校では開校当初から学力教育に加え、西武台式英語、アクティブラーニングやICT機器を有効
活用した授業、人間教育などを取り入れ、生徒が主体性をもって学べる教育環境を整えています。グ
ローバル化への対応としては、オーストラリアの学校と姉妹校の関係を持ち、親善を深めることで英語
や人間教育に活かしています。また、文部科学省で進める教育改革・大学入試改革に向けて、英
語検定対策やプログラミング教室も実施。さらに学習発表の場としてスタディフェスタも開催しています。

『Act on the GLOBE』グローバル化が進む社会において、日本人としてのアイデンティティを大切
にしながら世界で活躍できる人間力を磨いてください。

西武台新座中学校 佐賀 博



さらに詳しい情報は
ホームページで



特進選抜コース A組

国公立・難関私大合格を目指とするコース

手厚い学習サポート!



個性にあったサポート!

文武両道を意識し、基礎学力の定着を徹底的に行うコース

特進コース B組



難関大学で活躍する力を付けるため、各単元の応用・発展内容や、思考力を問う内容を重点的に扱います。部活動と学習を両立し、高いレベルで文武両道を目指す生徒も多く在籍しています。基礎期では、問題演習や外部模試の対策を通じてインプットを行い、こまめに実力の伸びを把握しながら指導を行います。また、グループワークやプレゼンテーションなどのアウトプットの場を活用し、総合的な力を養成します。発展期では、大学入試に向けて一層難易度の高い問題に取り組み、飛躍期では、文系・理系に分かれ、国公立大学への合格を通じて進路実現を目指します。



第一志望の大学で活躍する力を付けるため、基礎内容の定着を重視し、応用・発展内容へ結びつける学習を行います。部活動と学習を両立し、幅広いステージで活躍する生徒も多く在籍しています。基礎期では、基礎学力を身に付けるだけでなく、グループワークやプレゼンテーションなど、アウトプットの機会も積極的に活用します。発展期では、それぞれの進路希望に応じて学習の理解度を高めていき、飛躍期では、文系・理系に分かれ、総合型選抜等の幅広い入試形式を活用しながら、進路実現を目指します。



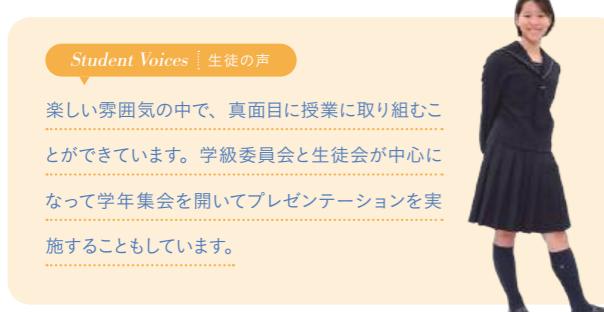
それぞれの夢を叶える充実した学習指導

進路実現に向け、放課後や長期休暇の講習・勉強合宿・受験や勉強法に関するガイダンス・個別添削や個人面談など、6年を通して充実した企画を実施しています。2024年度の卒業生は、本コースの学びを活かして埼玉大学をはじめとした国公立大学や、上智大学・立教大学・法政大学などの私立大学に進学し、夢を叶える第一歩を踏み出しました。



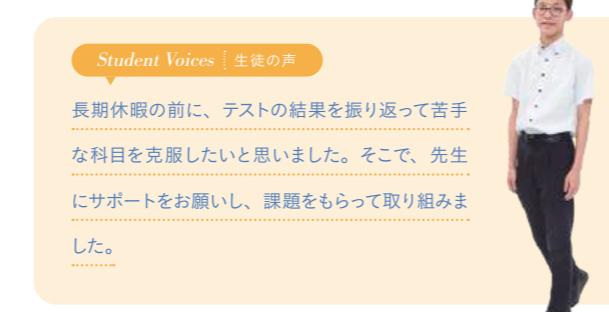
新しい入試形式を見据えた学習指導

基礎期で身に付けた学力を活かし、発展期・飛躍期を中心に、小論文や面接、プレゼンテーションなどの添削も手厚くサポートしています。コースの特色を踏まえた各自の活躍を土台に、6年間の学びを進路へ繋げます。2024年度の卒業生は、本コースの学びをいかして東洋大学・駒澤大学・東京電機大学などに進学し、夢を叶える第一歩を踏み出しました。



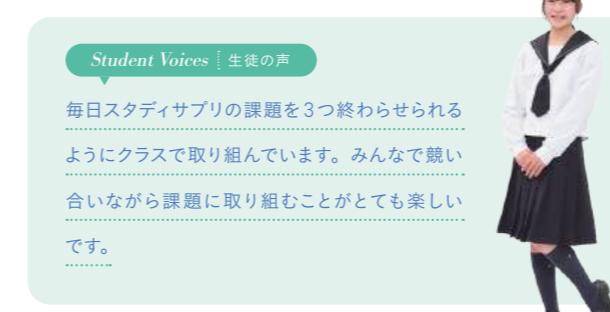
Student Voices 生徒の声

楽しい雰囲気の中で、真面目に授業に取り組むことができています。学級委員会と生徒会が中心になって学年集会を開いてプレゼンテーションを実施することもしています。



Student Voices 生徒の声

長期休暇の前に、テストの結果を振り返って苦手な科目を克服したいと思いました。そこで、先生にサポートをお願いし、課題をもらって取り組みました。



Student Voices 生徒の声

毎日スタディサプリの課題を3つ終わらせるようにクラスで取り組んでいます。みんなで競い合いながら課題に取り組むことがとても楽しいです。



Student Voices 生徒の声

男女の壁があまりなく、クラスで楽しみながら接しています。思いっきり楽しむときもあれば、冷静に課題に取り組むメリハリがしっかりっています。お互いに課題を教え合うこともあります。お互い



さらに詳しい
開設コースの情報は
ホームページで

スクールライフ School Life



西武台生の1日

広く、そして深く学ぶことを大切にした西武台の学校生活。
クラスメイトと一緒にになって考え議論して解決する授業。
おいしくて楽しい給食。
親切で丁寧な人間教育や進路指導の時間。
仲間と心地よい汗を流すクラブ活動。
学んで、笑って、ともに成長する毎日がここにはあります。



Lunch time
給食
生徒にも、保護者の方にも好評!
おいしくて栄養バランスを考えた給食。

お昼はカフェテリアで給食を楽しめます。

月曜日から金曜日の昼食時間は、生徒も先生もみんなでカフェテリアに集まって給食を楽しめます。育ち盛りの生徒のことを考えて量も十分、栄養バランスもきちんと管理したメニューです。女子生徒の声に応えてプチデザートの提供も行っています。

~8:20
登校



8:30
S タイム

S (Seibudai) タイムという名称で20分の朝学習(英語・数学)を週5日実施しています。予習、復習、小テストなどをを行うことで、通常授業で学んだ内容のさらなる定着を図ります。



8:55~12:45
午前授業



▶ 英語教育 P7

12:45~13:30
昼食



▶ 学力教育 P8

13:30~15:20
午後授業



▶ クラブ活動 P11

18:30(最終)
下校



▶ 学校行事 P10



SLC (西武台ラーニングサポートセンター)

放課後1日2時間の自学自習を目的に設置された施設で、高校生は20時まで利用できます。在籍するコーチは質問対応のほか、定期テストや大学受験に向けた計画作成まで幅広くサポートを行います。

▶ 進路目標 P13



第2グラウンド



こぶし館



さらに詳しい情報は
ホームページで

どの季節も
おしゃれ!

uniform

西武台生の制服



POINTも
チェック!

3 Season



POINT
カワイイ
リボンが
人気!



POINT
セーラーのラインが
お花の刺繡になっていてとても
おしゃれ



トラディショナルなデザインも人気です

百
Summer



POINT
小さめの
リボンが涼しげで
カワイイ!

中間服は季節の変わり目のお役立ちアイテム!

Option



合皮の黒の鞄で、
チャックの部分が金色で
高級感があります。また中にも
ポケットがあるので便利です。



ラインが入っていてスポーティー。



ダッフルコートが
あったかいシカッコいい。



AラインのPコートで、着ると
シルエットが綺麗に見えます。



さらに詳しい情報は
ホームページで

英語教育

SEIBUDAI English Method

さらに詳しい情報はホームページで
[QRコード](#)

英語教育における4技能(書く・読む・話す・聞く)は、バランス良く育成することで、より効果的なコミュニケーション能力の習得につながります。そのため、西武台新座中学校では、6カ年を通して「書く・読む」ための力を育みつつ、積極的に英語を「話す・聞く」活動も行っています。充実した体験学習を通して英語に触れることで、実践的な英語運用能力を高め、グローバル社会で活躍するための基盤を築きます。

中学

1 発音・発声をメインにした基礎期の授業

中1の基礎期には、朝の20分でのSタイム(SEIBUDAI TIME)で週3日、英語の発音・発声のトレーニングをします。口や唇の形や舌の動き、息の出し方やその強弱、その息に声を乗せる方法、歯の使い方などをわかりやすく、丁寧に説明することで、英語の発音に慣れさせています。



中学

3 オーストラリアへの語学研修

中3では、西武台新座中学で培った英語力を基に、オーストラリアへ語学研修に行きます。現地の生活はホームステイで過ごします。短い期間の中でもともに過ごす現地の方と必死にコミュニケーションを取り、相手の話を必死に理解し、自分の考えを必死で伝えるよう頑張ります。言葉や異文化の壁を自分自身の力で乗り越えた成功体験は、最高の思い出と大きな財産になります。



ベルリッツ英会話(高校生対象)

特系コースの希望者には、週1回、ベルリッツ英会話が実施されています。ベルリッツ英会話は、外部の講師を招いて、英会話の学習を行う時間です。社会で通用する英語力を身に付けるための力を高校でもさらに養成していきます。

オーストラリア異文化体験プログラム(高校生対象)

毎年、夏期休業中に2週間の日程で、希望者を対象にオーストラリアで行われます。ホームステイをしながら現地高校に通い、午前中はネイティブの先生による授業、午後は現地高校のエスコート役の生徒とともに授業に参加します。英語の勉強はもちろん、感性豊かな10代しか体験できない海外の異文化に触ることを目的としています。初めからたやすく意思の疎通ができるわけではありません。もがきながら相互の考え方や文化を理解しようすることこそ、何よりの研修になるはずです。



Teacher's Message [教員メッセージ]

口や唇の形や舌の動き、息の出し方やその強弱、その息に声を乗せる方法、歯の使い方などをわかりやすく、丁寧に説明することで英語の発音に必要な形状記憶をペアになって考えて答えを出したり、英語を使ってゲームを実施していたりして楽しい授業がたくさんあります。



Student Voices [生徒の声]

習熟度別にクラス分けを実施していて、実際に言葉の意味をペアになって考えて答えを出したり、英語を使ってゲームを実施していたりして楽しい授業がたくさんあります。



学力教育

国語

Japanese

国語はすべての思考力の原点です

友だちと話をするとき、勉強をするとき、本を読むとき、そして物事を考えるとき。私たちはいつも日本語を使っています。国語はすべての基礎であり、あらゆる教科の学力向上につながる教科です。これからの時代、様々な国籍の人と触れ合う機会が多くなります。国語の学力を十分に蓄えておけば、他の言語や考え方を理解する力が培われるだけでなく、主体的に自分の考えを構築し、表現する力が養われます。日常における思考力に幅や深みが生まれ、心を成長させる国語教育に主眼を置いています。



Teacher's Message [教員メッセージ]

中高生の6年間は、人生の中でも非常に多感な時期です。その時期にたくさんの文学作品に触れて、日常生活だけでは想像できない、様々な現実の捉え方や価値観を知ることができます。国語の授業で他者の思考を丁寧に学ぶことで、自分自身の個性を相対的に発見することができます。6年間で出会う様々な文学作品を通して感性を磨き、新しい「自分」をたくさん見つけていきましょう。



数学

Mathematics

数学を通して論理的思考力を育む

本校の数学科で最も重視しているのは、与えられた情報や起きている現象から、あることからを論理的に説明する力です。将来、「ある情報から何かの仮説を立て、検証し、最善策を考える」という場面はたくさんあるはずです。その中でいかに根拠が明確であり、論理の飛躍がないように筋道立てて考えることができるか、という論理的思考力こそが数学を学ぶことによって身に付けることができる力だと考えています。



Teacher's Message [教員メッセージ]

本校には数学を肯定的に感じている生徒が約90%います。このうれしい声に応えるためにも、さらに学力を向上させたいと思っています。解法を文章で書いて答えを導く、記述式の問題でも、教え合いをいかした授業と課題で対策することができます。まだ数学が苦手だと思う人がいれば、ぜひ質問に来てください。一緒に成績を伸ばし「好き」、「得意」な教科にしましょう。

理科

小・中学生が高い学力を生み出す

Science

「なぜ雨が降るのだろう」「なぜ息ができるのだろう」。私たちは自然界に生きていながら、その成り立ちや法則を知らないことが多いものです。本校では、身近な現象をきっかけに理科の面白さを伝える魅力的な授業を行っています。日頃から小さなことに疑問を持つ生徒を高く評価し、自分で考察する楽しみを重視することで、生徒たちの探究心を刺激します。また、理科はトライ＆エラーを最も体感できる教科であり、授業を通して得られる経験や思考方法は、やがて高度な学力を生み出す土台となります。



Teacher's Message [教員メッセージ]

理科は事物現象に興味を持つことや身近なものに置き換えることが重要なので、テーマ選びや説明の仕方を中学生向けに工夫しています。また、こちらからの発問を多くすることで、生徒には「考える」という作業に慣れてもらうように心がけています。正しいかどうかではなく、自分の意見を持つことが科学的思考力の出発点です。



社会

広い世界で、生きる術を見出す

Social studies

社会科の本質は、世の中を広く理解し、生き抜く術を身に付けること。そして、学習を通じて日本人のアイデンティティを見つけ出すことといえます。ひとりの人間としで社会を創造する力を育て上げるためには、憲法や地形、風土、歴史など、日本という国をたくさんの角度から学ぶ必要があり、それは同時に多様な価値観が共存する世界全体を知ることにもつながります。グローバル社会の一員として活躍するこれからの世代にとって、社会科は自己形成のための重要な教科のひとつです。



Teacher's Message [教員メッセージ]

先日、生徒から「歴史の授業で習った史跡を訪問しました」という話を聞きました。興味を持った場所へ足を運ぶことは学習意欲の賜物であり、家族で社会科について会話をしていることをうれしく感じました。社会科の家庭学習は、家族と一緒に取り組めるという利点があります。泉のように湧き出る好奇心を支えることで、学力の向上に必ず結びつくはずです。



Student Voices [生徒の声]

とても楽しく、自分の考えを自信を持って言えるような授業です。わからなかったら、すぐにわからないですって聞ける雰囲気の授業です。



ワクワク感を呼び覚ます学び

「知識・技能」と「探究」を兼ね合わせた学習サイクル

本校では、授業で身に付けた「知識・技能」を、様々な「探究」活動でアウトプット、好奇心を育むことを重視しています。特に中学校に在籍している基礎期と発展期の前半では、生徒が自ら課題を設定し、情報収集・分析・考察を行い、成果を発表する学習活動を多く設定しています。これらの活動により、知識の習得に留まらず、主体的に学ぶ姿勢、問題解決能力、批判的思考力、コミュニケーション能力といった、これから社会で求められる資質・能力を育んでいきます。

【スタディフェスタ】

全校生徒による教科横断型の探究活動

教科の枠を飛び越え、自然科学・人文科学・社会科学に関する幅広いテーマについて、情報収集・分析・考察を行い、成果を発表する学習活動です。年間を通して活動し、3学期には保護者の前で全チームがプレゼンテーションを行います。これまで学んだ内容を、実社会とのつながりを意識し、自らの興味関心に基づいて深く掘り下げる経験を通して、生徒の好奇心や、主体的に学ぶ意欲を育みます。



【プログラミング教室】

本校のプログラミング教育は、コードに関する知識はもちろん、論理的思考力・問題解決能力・創造性といった汎用性の高い能力の醸成も重視しています。また、大学入試で新しく設けられた情報分野へのスムーズな接続も視野に入れています。3年間で30時間程度の学習機会を設け、毎回専門の講師をお招きして体験型の授業を行っています。生徒からも「新しい発見がある」と好評の企画です。



【校外学習】

本校では、校外学習を通して生きた知識や豊かな経験を獲得することを目指しています。博物館や工場、官公庁などを実際に訪れ、社会の仕組みや人々の働きを肌で感じ、社会に対する関心や職業観を育むきっかけ作りを行っています。また、見学先での発見や疑問を共有することで、多角的な視点や協調性も養っています。



学校行事 Events

温かく頼れる先生方、同じ時間を一緒に過ごす大切な仲間たち。たくさんの体験と豊かな教育内容を備えた本校で、実りある6年間を過してください。

オリエンテーション合宿

「オリエンテーション合宿」は入学直後に行う2泊3日の宿泊行事です。クラスメイトと寝食を共にし、飯盒炊爨や集団行動、HR活動など様々な体験学習を行います。規則の遵守を通じて自己成長の機会を得ることができますと共に、教室での学習を越えた豊かな人間関係も構築できる、大切な行事です。



体育祭

中高合同で行われる体育祭は、競技への参加や応援を通して喜びや悔しさを共有し、生徒同士の絆が深まる大切な行事です。また、チームで戦略を練り、練習に取り組む中で、計画性や組織力も養うことができます。学年の垣根を超えた全クラス対抗の大縄跳びは、毎年一番の盛り上がりを見せる種目です。高校生の白熱した戦いぶり見ることも、生徒の楽しみになっているようです。



武陽祭

本校では、中高合同で「武陽祭（文化祭）」を行っています。準備段階から役割分担を行い、互いに協力し合うことで、コミュニケーション能力やリーダーシップ等の社会で求められるスキルを実践的に身に付けることができます。中高一貫の環境を活用して高校生の企画を見学し、刺激を貰って自分たちの企画に活用する様子も多く見られます。学校生活の集大成となる、とても楽しい行事です。



ミュージックフェスタ(Mフェス)

どちらも芸術という普遍的な文化に触れ、美的感覚や感受性を磨くことができる行事です。Mフェスでは、学年が一丸となって美しいハーモニーを創り上げる過程を通して、協調性・表現力を育みます。芸術鑑賞教室では、様々なジャンルの表現に触れる体験を通して、想像力を刺激し、創造性の芽を育みます。



さらに詳しい情報は
ホームページで



CLUB ACTIVITIES クラブ活動

「教えてもらう」から「自分で考えて行動する」へ。
部活動は体力や技能の向上を目指すとともに、
生徒が自主性を身に付ける学びの場でもあります。



さらに詳しい情報は
ホームページで



西武台で学べてよかったことは？

中川 A組とB組あわせても32人。少人数クラスなので、みんな仲が良く勉強も行事も一緒に楽しめました。大縄跳びの大会では一致団結して3学年で1位になったこともあります。

石藏 確かにクラスの絆は強かったね。とはいっても、勉強面ではライバル。定期試験や模試が終わると、クラスメイトと点数を見せ合って切磋琢磨していました。

工藤 先生との距離が近いという点も少人数クラスの良いところでした。先生方は一人ひとりのことを理解してくれ、学力や苦手科目に合わせた個別の勉強法をアドバイスしてくれます。模試の解き直しと添削の繰り返しで僕は苦手な英語を克服できました。

北脇 チアダンス部に入りたくて、この中学に入りました。中1・中3で全国大会優勝も果たしています。全力で部活動に取り組んだので、隙間時間の有効活用が私の勉強法のポイント。少しであっても毎日机に向かいました。コツコツ積み重ねることが大切なのは部活の練習も勉強も同じです。

細山 私が大学で英文学科を専攻するきっかけとなったのは、中学の授業で英語を話す楽しさを学べたからです。模型を使った舌の動かし方で発音と発生を学ぶ仲丸先生の授業や外部の講師からネイティブの発音を学ぶ「ザ・ジングルズ」など、スピーキング力が身に付く授業がたくさんありました。

石藏 西武台には1年生からグループワークやプレゼンテーションを学ぶ総合の授業があります。初めはiPadに不慣れでプレゼン準備に手間取りましたが、回を重ねるごとに自分なりの手法や話し方が固まり、人前で発表することが苦にならなくなりました。保護者に学校のプレゼンテーションをしたり、SDGsについての発表もしました。

北脇 SDGsは「海の豊かさを守る」がテーマだったね。海洋汚染の原因のひとつにプラスチックゴミが多いことを調べて、エコバッグを作ったのは楽しかったです。グループごとに何回使ったかをまとめたのも勉強になりました。

将来の夢や社会で果たしたい役割は？

工藤 大学は情報工学部に進むので、AIを活用した技術に興味があります。昨年は米不足が話題になりましたが、地球温暖化や後継者不足で、日本の農業は危機的状況です。情報工学と農業を連携して、人の負担が減っても高品質な野菜作れたら社会に貢献できますね。

中川 第一志望は食品や化粧品の開発チームですが、SDGsの観点から都市開発をする会社にも興味があります。

生物を学ぶなかで温暖化を防ぐには森林レベルの樹木がないとCO₂を吸収できないとわかりました。森林に囲まれたマンション建設とか面白そうです。

石藏 父が経営する会社をゆくゆくは継ぐつもりです。まずは企業に就職して経験を積み、資格を取得します。父の仕事を見ていると、人のつながりの大切さがわかります。大学や社会人生活の中で人との関係を築きながら、お世話を地元の街に恩返ししたいです。

細山 大学では英文学を専攻するので、英語を活用できる仕事に就きたいです。同時に、日本史も好きなので日本文化を紹介する仕事にもかかわりたいと思います。インバウンドの観光客も増えているのでツアーリーの仕事も選択肢の一つですね。

北脇 私は文理融合の学部に進むので、さまざまな分野の学問を学んだあとに、自分のやりたいことが何かを見極めたいと思います。まずは大学で勉強を頑張ります。



さらに詳しい情報は
ホームページで

進路指導

本校では進路選択に留まらず、6カ年を通して生徒一人ひとりが自己理解を深め、主体的にキャリアを形成する活動を取り入れています。特に中学校に在籍する基礎期・発展期前半では、様々な企画を通じてキャリアに関する好奇心・情報収集能力を養い、生徒一人ひとりの個性と可能性を最大限に引き出すことを重視しています。



成長プレゼンテーション

本校の三者面談は生徒が主役となり、保護者と教員に「成長プレゼンテーション」を行います。それぞれが思い描く将来像をもとに、大学生活・高校生活を見越してスケジュールの逆算を行い、現在の自分に必要な課題を見つける活動です。また、入学時から現在までの成長を可視化することで、学校生活に対する意欲の向上や自己肯定感の醸成にも繋がります。生徒にも保護者にも好評の企画です。



西武台アカデミア

定期的に、様々な分野の第一線で活躍する方をお招きし、講演会を実施しています。それぞれの仕事のやりがいや苦労を直接聞くことで、生きた学びを得ることができます。また、多様な職業を知ることで、自身の興味や関心・適性について考え、将来的な選択肢を広げるきっかけにもなっています。



和文化教養普及協会様をお招きして、特別講習を実施

外部模試

各学期に1回、全学年でペネッセ模試を実施しています。学校内での定期テストとは異なり、全国のライバルと比較した自分の課題や弱点を見つけて対策することで、大学受験に対応できる学力の向上を図ります。また、模試の受験にあたっては、授業の内外で過去問に取り組み、解説授業も行っています。



SLC

「西武台ラーニングサポートセンター」の略で、中学生は18時まで、高校生は20時まで個別のブースで自習を行うことができます。また、常時大学生や卒業生のチーターが在籍しており、定期考査や受験勉強・英検等の資格取得の対策を行うことができます。個別の質問だけではなく、計画の作成や個別面談など幅広く対応しています。



スタサブ

スタディサプリ(スタサブ)は、全科目対応のオンライン自主学習サービスです。基礎学力の定着から応用力の養成・受験対策まで、幅広いレベルに合わせた講座が用意されており、効率よく学習を行うことができます。また、年に2回程度全学年で到達度確認テストも実施しており、学内の学習と相互に連携を行っています。



進路実績

(高校特系コースの取り組み)

■2024年度高校特系コースの実績

区分	大学	人数
国公立	埼玉大学	2名
	早慶上理	7名
	GMARCH	21名
	成成明学獨國武	11名
	日東駒専	11名
	四工大	17名

1 統括主任面談・日直面談

発展・飛躍期では、より個別最適化された指導が必要となります。そのため、高校の特系コースでは、担任との日直面談や特系統括主任面談を実施し、きめ細やかな指導を行っています。各自の目標に応じた具体的なアドバイスを継続的に行うことで、日々の学習や学校生活に対する意識を大きく高めることができます。



2 充実した学習環境

特系コースでは、放課後や長期休暇の講習・勉強合宿・教科担当との個別の添削・SLCでの自習や個に応じた学習・Monoxer(英単語暗記アプリ)の活用など、幅広い学びの機会を設けています。また、コース企画として卒業生講演・受験に関するガイダンス・長期休暇の計画表作成など、独自の手厚いサポートが充実しています。



O B & O G's Voice

卒業生の声



緑山 菜奈さん

私たち8期生は「もっと上位を目指そう」「苦手克服」「全国制覇」「英語強化」などの目標を掲げたグループ活動で、先生方に学習サポートをしてもらいました。私は数学と理科が苦手だったので、苦手克服グループに所属。最初に模試や定期テストの成績で私の苦手とする部分を把握してもらい、個別で学習計画を作成してもらいました。その後、マンツーマンの面談で、苦手を克服するための勉強法を指導してもらいました。

工藤 遼矢さん



北脇 涼音さん

数学で先生がたくさん問題を解くことで計算が身に付く「計算マラソン」という教え方をてくれたお陰で苦手の数学を克服できました。西武台の先生方の工夫を凝らした授業は学んでいて楽しかったです。また、テスト期間の放課後は、教室に残って勉強しました。分からないことがあったとき、すぐに職員室まで質問に行けるからです。質問に行くと、理解するまで、丁寧に教えていただけたのはありがとうございました。



さらに詳しい情報は
ホームページで



SCHOOL GUIDEBOOK 2024 14